

公益財団法人国際花と緑の博覧会記念協会

平成 27 年度

事業報告書及び決算書

自 平成 27 年 4 月 1 日

至 平成 28 年 3 月 31 日



EXPO'90
FOUNDATION

目次

事業報告書

はじめに	9
------	---

I. 事業

1. 顕彰事業	9
(1) コスモス国際賞	
(2) BIE コスモス賞	
(3) 全国花のまちづくりコンクール事業	
2. 助成・協働事業	11
(1) 調査研究、行催事等助成事業	
(2) 花とみどりの復興活動支援助成事業	
(3) 地域協働事業	
3. 普及啓発事業及び国際交流事業	16
(1) 次世代育成事業	
(2) 花育推進事業	
(3) 都市緑化推進運動等への協力事業	
(4) 普及啓発事業	
(5) 国際交流事業	
4. 調査研究・資料収集事業	21
(1) 生物多様性等に関する調査	
(2) 里山等の共生に関する調査	

II. 庶務・管理

1. 理事会・評議員会等	25
2. 内閣府届出及び情報公開	26
3. その他	26

決算書

III. 財務諸表

1. 貸借対照表	29
2. 損益計算書（正味財産増減計算書）	31
3. 附属明細書	40
4. 財産目録	41

IV. 監査報告書	45
-----------	----

平成 27 年度

I. 事 業

自 平成 27 年 4 月 1 日

至 平成 28 年 3 月 31 日

はじめに

公益財団法人国際花と緑の博覧会記念協会（以下「協会」という。）は、国際花と緑の博覧会（以下「花の万博」という。）の「自然と人間との共生」という理念を継承し発展させることを目的に、花の万博記念基金を活用し、年次事業計画書に沿って各種事業を行っている。

平成 27 年度は、世界の経済市場の変化が大きい中、一定の収入を得、公益法人移行 3 年目として、協会の中心的事業である「コスモス国際賞」の実施をはじめ、顕彰事業、助成・協働事業、普及啓発・国際交流事業、調査研究・資料収集事業を滞りなく行った。

I. 事業

1. 顕彰事業

(1) コスモス国際賞

花の万博の理念を継承し、さらに発展させるため、この理念に沿った国内外の優れた研究活動や業績を顕彰する「コスモス国際賞」（以下「コスモス賞」という。）の 2015 年（第 23 回）受賞者の選考及び授賞式等を次のとおり実施した。

また、2016 年（第 24 回）の受賞候補者の推薦を国内外の推薦人に依頼するため、推薦状を発送した。

ア. 受賞者の選考等

コスモス賞委員会（以下「賞委員会」という。）及びコスモス賞選考専門委員会（以下「選考委員会」という。）を設置し、次の選考作業を行った。

(ア) 2015 年（第 23 回）受賞者の選考等>

- ・平成 27 年 5 月 25 日及び 29 日に第 1 回、第 2 回選考委員会が開催され、2015 年受賞者選考対象 119 件の推薦に基づき、慎重な選考作業が実施された。
- ・平成 27 年 6 月 26 日に第 3 回選考委員会及び第 1 回賞委員会が開催され、2015 年受賞候補者にヨハン・ロックストローム博士（スウェーデン、ストックホルム・レジリエンス・センター所長）が選定された。
- ・選考の経緯及び結果は、平成 27 年 7 月 31 日開催の第 87 回理事会に推挙され、受賞者として決定した。また、同日午後、国内外の報道機関に対して記者発表を実施した。

(イ) 2016 年（第 24 回）受賞者の選考準備等>

- ・平成 28 年 1 月 7 日に第 2 回賞委員会が開催され、2016 年（第 24 回）受賞者の受賞者選考に対して選考方針及び今後の日程等について審議された。

- ・国内外約 1,000 名の推薦人に対し、受賞候補者の推薦依頼を行った。

イ. 2015 年（第 23 回）コスモス賞授賞式及び晩餐会の開催

国内外からの賓客及び招待者約 450 名の参列のもと、授賞式を開催するとともに、ロックストローム博士を囲み、賞委員会・協会関係者による晩餐会を行った。

(ア) 授賞式

日 時： 平成 27 年 11 月 5 日（木）午後 3 時～5 時

場 所： いずみホール（大阪市中央区）

出席者： 約 450 名

(イ) 受賞記念晩餐会

日 時： 平成 27 年 11 月 5 日（木）午後 5 時 30 分～7 時

場 所： ホテルニューオータニ大阪（大阪市中央区）

出席者： 25 名

ウ. コスモス国際賞受賞記念講演会

平成 27 年 11 月 10 日（火）、2015 年受賞者ヨハン・ロックストローム博士による講演会を東京大学安田講堂で開催した。

（詳細別表 1 のとおり）

（別表 1）

		東 京
日 時	平成 27 年 11 月 10 日（火） 午後 4 時～6 時	
場 所	東京大学 安田講堂 〔東京都文京区〕	
講 演	テーマ	「人間と自然との共生：プラネタリーバウンダリー内での繁栄」
	講師	2015 年（第 23 回）コスモス国際賞受賞者 ヨハン・ロックストローム博士（ストックホルム・レジリエンス・センター所長）
次第等	受賞者紹介：武内和彦（コスモス国際賞選考専門委員会委員長、東京大学サステイナビリティ学連携研究機構長・教授） 講演：ヨハン・ロックストローム博士 対談：ヨハン・ロックストローム博士 沖 大幹（東京大学生産技術研究所教授）	
参加者	約 520 名	
共催	東京都教育委員会	
後援	農林水産省、国土交通省、文部科学省、環境省、スウェーデン大使館	

(2) BIEコスモス賞

協会の存在及びコスモス賞の国際的なPRのため、平成19年度よりBIE(博覧会国際事務局(本部パリ))と開催国の万博協会が行う「BIEコスモス賞」に参画しているBIEコスモス賞については、平成27年度はイタリアのミラノ万博で実施した。

平成27年9月30日(水)に選考委員会を行い、ONGD CESAL NGOの「Rural School Nutrition Project」(ハイチ)に賞を贈ることを決定した。授賞式は10月30日(BIEデー)に、ミラノ万博会場において行い、賞金2万ユーロを授与した。

(3) 全国花のまちづくりコンクール事業

花の万博を契機に「花と緑の国づくり・まちづくり」をめざして農林水産省及び国土交通省が提唱する花のまちづくりコンクールの推進協議会に参画し、第25回(2015年)花のまちづくりコンクールを実施した。

応募数：1,904件

入賞：農林水産大臣賞及び国土交通大臣賞 各2点をはじめ23点

表彰式：開催日 平成27年10月28日(水)

場所 東海大学校友会館(東京都千代田区)

2. 助成・協働事業

(1) 調査研究、行催事等助成事業

花の万博の理念の継承、発展又は普及啓発に資する調査研究、技術開発、活動、行催事等を支援する助成事業を次のとおり実施した。

ア. 平成27年度は、平成26年度に決定した21団体(詳細は別表2のとおり)に対し助成を行うと共に、平成28年度の助成公募等を行った。

イ. 助成事業審査委員会を設け、応募のあった助成対象団体の審査を行った。

(ア) 公募及び審査

公募期間：平成27年8月3日(金)～9月18日(月)

応募総数：68件

審査期間：平成27年10月～平成28年1月

(イ) 助成対象団体の決定

助成事業審査委員会の結果は理事長に答申され、平成28年3月18日(金)開催の第88回理事会において平成28年度の助成対象37件を決定した。

(別表2)

	団体名	事業名
調査研究開発	中生代植物研究会	地方博物館の資料を活かした中生代植物化石図鑑制作
	タンポポ調査・西日本 実行委員会	タンポポ調査・西日本 2015
	富士山自然誌研究会	富士山の保護上重要な野生植物の生態と分布調査
	特定非営利活動法人サンクチュアリエヌピーオー	絶滅状態にある海浜植物の分布調査と生態研究
	特定非営利活動法人グラウンドワーク三島	水の都・三島・清流のシンボル・ミシマバイカモを救え
	亀岡みらいパース	京都府亀岡市域ツバメ営巣分布状況調査
	特定非営利活動法人山の自然学クラブ	気仙沼市本吉地区における海岸植物の市民参加型調査
	公益社団法人日本造園学会	ランドスケープ遺産インベントリー作成事業
	公益財団法人神戸市公園緑化協会	六甲山地の植物 一般市民向けガイド冊子の発行
	モンゴル森林再生促進研究会	「倒木遮蔽更新」仮説を応用した再生促進技術の開発
	一般社団法人湿原研究所	北海道湖水地方の有用植物調査とワイズ・ユース研究
	薩南ニホンジカ調査研究ネットワーク	大隅諸島の移入シカ管理と生物相保全のための基礎研究
活動・ 行 催 事	特定非営利活動法人 くすの木自然館	重富海水浴場内の松林(防潮林)の維持保全活動
	特定非営利活動法人NPOクワガタ探検隊	大都市の里山で 舞い踊れ! 未来の森の守り人
	土佐市ドラゴン風景街道推進協議会	ニオイザクラによる美しいまちづくり
	特定非営利活動法人吉里吉里国	自然の恵みを体感する森林教室
	かめおか里道里山探検倶楽部	かめおか里山里道トレイルの活用―植物回廊図鑑―
	かのご里山村	かのご里山村・里山イベント充実事業
	特定非営利活動法人白神自然学校一ツ森校	わが町―もくもくかわかわ体験プログラム
	石橋記念公園子どもガイドの会	子どもガイドたちによる花緑豊かな公園づくり
	金華山えこねっと	岐阜県における外来種等動物対策プロジェクト活動

ウ. 助成事業成果発表会等の開催

過去の助成団体の中から6団体が事業内容やその成果についての発表を行った。それに先立ち、ガーデンデザイナーでホーティカルチャリストのポール・スミザー氏により、「植物の力で環境をつくる～自然にも、人にも愛される生物多様性ガーデン～」と題する講演会がおこなわれた。発表終了後、団体と参加者による交流会を開催した。

日 時：平成27年9月5日（土）午後1時～7時

場 所：高新文化ホール（高知新聞放送会館7階）

報告：6団体（別表3のとおり）

参加者：約200名

共催：公益財団法人 高知県牧野記念財団

協力：認定NPO法人四国自然史科学研究センター

後援：農林水産省、国土交通省、高知県、高知市ほか8団体

(別表3)

番号	表題	団体名	所在地
1	絶滅危惧種:ウスイロヒョウモンモドキの保全・増殖	学校法人加計学園	岡山県
2	四国におけるニホンザルの分布状況の把握	認定NPO四国自然史科学研究センター	高知県
3	郡山城跡の桜を後世に引き継ぐ市民プロジェクト	郡山城跡・桜守の会	奈良県
4	花と緑に関連する生きがい有無別に見た高齢者の生存維持追跡研究	首都大学東京・都市システム専攻・花と緑の生存意義研究会	東京都
5	和気浜公園整備公共事業に伴う希少野生動植物保全活動	伊予農希少植物群保全プロジェクトチーム	愛媛県
6	ミャンマー連邦における植物多様性保全	(公財) 高知県牧野記念財団	高知県

(2) 花とみどりの復興活動支援助成事業

阪急電鉄(株)からの寄附を受け、東日本大震災の被災6県(青森、岩手、宮城、福島、茨城、千葉)の、花とみどりによる復興活動を行う団体へ助成金支援を行った。

ア. 公募及び審査

公募期間：平成27年4月1日(水)～平成27年5月31日(日)

審査期間：平成27年6月

イ. 活動団体の決定

復興活動支援助成事業審査会を設け、申請団体22件の中から支援団体13件を決定した。(別表4のとおり)

支援総額：5,000,000円(寄付金充当：400万円)

(別表4)

実施団体	所在地	事業概要
一般社団法人ならはみらい	福島県	国道等への花や緑の植栽による環境美化と放射能不安の払拭
特定非営利活動法人 勿来まちづくりサポートセンター	福島県	津波被害者等のサロン活動を支えるガーデニング
スマイルいわて	岩手県	スマイルマークのフラワーアート花畑の制作と生育
ふくしま園芸療法研究会	福島県	避難者支援の花植え活動や拠点コミュニティガーデンづくり
ローズマリーの会	岩手県	みどりのカーテンや花壇整備によるローズマリー祭りの継続
特定非営利活動法人スマイル シード	宮城県	神社付近の花壇や公園広場の整備
NPO法人サンガ岩手	岩手県	花畑や家庭菜園による仮設住宅住民の癒しの場づくり
住みよい五箇をつくる会	福島県	地域住民等に安らぎ感じてもらう幹線道路路肩の花植え
NPO法人チームふくしま 福島ひまわり里親プロジェクト	福島県	ひまわりを復興のシンボルとするためのプランター設置
台松塚館跡保存会	福島県	地域活性化のための台松塚跡地の整備
社会福祉法人翔友	岩手県	福祉センター通所者へのケアの一環としての外壁緑化
一般社団法人 ほほえみみやぎネットワーク	宮城県	周辺住民のための旧保育所跡地の花と緑による整備
芝桜 de 花のまちづくり in 浦安	千葉県	液状化被害地の芝桜などによる花とみどりの復興

(3) 地域協働事業

地方公共団体・企業・ボランティア・住民等と協働し、緑化や花飾り等の事業を次のとおり実施した。

ア. 歴史の道 みどりの拠点づくり事業

歴史のある旧街道などの道沿いに、地元住民団体や地方自治体と協働し、緑あふれる空間を創造することにより、魅力的な憩いの場を提供する本事業を実施した。

(別表5-1のとおり)

(別表 5-1)

応募団体	所在地	事業概要
山中溪自治会	大阪府阪南市	熊野古道沿いのわんぱく王国駐車場に植樹を行い、併せて日本家屋風の塀を整備
特定非営利活動法人 大阪水上安全協会	大阪市中央区	中之島周辺の拠点であり熊野街道の起点である八軒家浜に高木や道標等を整備

イ. 子どもたちと育てる花とみどりによるコミュニティづくり事業

小中学校において、子どもたちが地域団体等と共に花を育て、育てた花を地域に配ることにより、人々の結びつきや地域の結束を高め、地域コミュニティの向上、都市緑化の推進を図ることを目的とした本事業を実施した。(別表 5-2 のとおり)

(別表 5-2)

応募団体	所在地
木津川市立城山台小学校	京都府木津川市
石津小 Happy スマイルコミュニティプラン	大阪府寝屋川市
岸和田市立城北小学校 花とみどりの実行委員会	大阪府岸和田市
下鳥羽 花いっぱい 笑顔いっぱい運動	京都府京都市
子どもたちから地域とママに花を贈る「成徳 母苗(花苗)コミュニティづくり」事業	京都府京都市
花とみどりを育てる委員会	大阪市阿倍野区
長原ガーデン花いっぱいプロジェクト	大阪市平野区
梅香小学校花いっぱい実行委員会梅香小学校はぐくみネット	大阪市此花区
釧路市白樺台花いっぱい運動釧路市白樺台花いっぱい運動の会	北海道釧路市
登美ヶ丘中学校区地域教育協議会	奈良県奈良市

ウ. みどりの交流広場

関西を中心に、自然やみどり、人の暮らしに関わる活動をしている市民、企業、団体等の発表と団体相互の交流の場を設けることにより、情報の共有や協働のネットワークを促進させ、共生の輪を広げることを目的とした「みどりの交流広場」を開催した。

4 回目の今回は「里とまちをつなぐ活動」、「くらしと文化・風土をつなぐ活動」、「人と自然をつなぐ活動」の 3 つに分類し 19 団体が発表した。

日 時：平成 28 年 2 月 11 日（祝）正午～午後 5 時 30 分

場 所：花博記念ホール（大阪市鶴見区）

参加団体：19 団体

参加者：約 120 名

後 援：大阪府、大阪市

3. 普及啓発事業及び国際交流事業

(1) 次世代育成事業

花の万博の理念の継承発展のため、協会に関係する学者、知識人等を講師に招き、児童を対象に平成 6 年度から開催しているもので、平成 27 年度は、屋外での自然観察教室（フィールド型セミナー）、小学校講師派遣（講師派遣型セミナー）を実施した。

また、次世代育成とマスコミとの連携強化のため、毎日新聞大阪本社との共催による小・中学校生態園づくりを実施した。

さらに、幼稚園児を対象とした新しい自然教室を検討するため、「昆虫クエスト大作戦」を試行した。

ア. 自然観察教室

テーマ：「集まれ！生き物好きな子供たち」

開催日：平成 27 年 8 月 8 日（土）～10 日（月）

場 所：兵庫県立奥猪名健康の郷（兵庫県川辺郡猪名川町）

講 師：久留飛 克明（箕面公園昆虫館長）

三橋 弘宗（兵庫県立人と自然の博物館主任研究員）

山内 健生（兵庫県立人と自然の博物館主任研究員）

参加者：近畿圏の小学校 4～6 年生及び中学校 1 年生 22 名

イ. 小学校講師派遣（講師派遣型セミナー）

小学校への出張授業 12 件実施した。（別表 6 のとおり）

（別表 6）

日 時	学校名・参加者	テーマ	講 師
平成 27 年 6 月 16 日(火) 10:50～11:35	大阪市立東小橋小学校 (大阪市東成区) 3 年生 69 名	昆虫について	谷 幸三 (（一社）淡水生物研究所理事)
平成 27 年 6 月 19 日(金) 13:45～14:30	豊中市立豊南小学校 (豊中市豊南町) 3 年生 35 名	自然・生命の不思議 について	佐藤 洋一郎 (人間文化研究機構理事)

平成 27 年 6 月 22 日(月) 13:40～14:25	枚方市立西長尾小学校 (枚方市長尾西町) 4 年生 97 名	動物の命について	長瀬 健二郎 (元天王寺動物園園長)
平成 27 年 6 月 23 日(火) 13:55～14:40	柏原市立堅下北小学校 (柏原市法善寺) 3 年生 41 名	昆虫について	谷 幸三 (一社)淡水生物研究所理事)
平成 27 年 7 月 1 日(水) 13:20～14:05	高槻市立樫田小学校 (高槻市田能) 3～4 年生 17 名	自然や生命の不思議 について	長瀬 健二郎 (元天王寺動物園園長)
平成 27 年 7 月 10 日(金)) 10:50～11:35	大阪市立加島小学校 (大阪市淀川区) 3 年生 92 名	昆虫について	谷 幸三 (一社)淡水生物研究所理事)
平成 27 年 7 月 13 日(月) 10:45～11:30	大阪市立東三国小学校 (大阪市淀川区) 3 年生 43 名	昆虫について	谷 幸三 (一社)淡水生物研究所理事)
平成 27 年 9 月 24 日(木) 10:50～11:35	堺市立浜寺小学校 (堺市西区) 3 年生 69 名	昆虫について	谷 幸三 (一社)淡水生物研究所理事)
平成 27 年 11 月 11 日(水) 10:45～11:30	大阪市立焼野小学校 (大阪市鶴見区) 4 年生 53 名	環境・生命・動物につ いて	長瀬 健二郎 (元天王寺動物園園長)
平成 27 年 12 月 7 日(月) 10:45～11:30	大阪市立瓜破北小学校 (大阪市平野区) 4 年生 58 名	昆虫について	谷 幸三 (一社)淡水生物研究所理事)
平成 28 年 1 月 21 日(木) 10:45～11:30	泉大津市立穴師小学校 (泉大津市我孫子) 4 年生 80 名	環境・森林について	中村 彰宏 (大阪府立大学 准教授)
平成 28 年 2 月 10 日(水) 10:45～11:30	大阪市立港晴小学校 (大阪市港区) 4 年生 22 名	動物の命について	長瀬 健二郎 (元天王寺動物園園長)

ウ. 小・中学校における生態園づくり

毎日新聞社と共催し、生態園（ビオトープ）を 4 校に設置した。また、前年に設置した小・中学校においては、生物の観察の様子や記録を毎日新聞紙面や毎日新聞ホームページで紹介した。（別表 7 のとおり）

(別表 7)

実施校	所在地	実施内容
茨木市立清溪小学校	大阪府 茨木市	児童の環境学習につなげる生態園づくり (ビオトープ池の整備)
西宮市立西宮浜小学校	兵庫県 西宮市	田んぼづくり体験を通しての生態系調査
智辯学園中学校	奈良県 五條市	地域の自然に対する自発的な働きかけと 考察の構築 (ビオトープ池の整備)
八尾市立刑部小学校	大阪府 八尾市	ニッポンバラタナゴの池をつくろう!

エ. 幼稚園児対象の新規事業の検討

新しい次世代育成事業の一つとして、幼稚園児向けの新規事業を検討するため、鶴見緑地をフィールドに、親子で昆虫を探す「昆虫クエスト大作戦」と銘打って試行した。

開催日：平成 27 年 9 月 26 日 (土)

場 所：花博記念公園鶴見緑地

講 師：八木 剛 (兵庫県立人と自然の博物館主任研究員)

参加者：鶴見区の幼稚園児とその家族 (120 名)

(2) 花育推進事業

花や緑による情操教育を目的とした花育活動を推進する全国花育推進協議会に参画し、関係団体とともに講習会やセミナー等の実施などを行った。

(3) 都市緑化推進運動等への協力事業

「春の都市緑化推進運動期間 (4~6 月)」および「都市緑化月間 (10 月)」における「都市緑化キャンペーン活動」等を支援するため、都市緑化推進運動協力会に協力するとともに、協会事業の紹介パネル等を展示した。

(4) 普及啓発事業

花の万博を開催した地元において、基本理念の継承発展・普及啓発に関する事業を地元公共団体及び関連団体と協働し実施した。

ア. 大阪都市緑化フェア

花と緑あふれる豊かなまちづくりを進め、都市緑化に関する府民意識の高揚と知識の普及を図ることを目的に開催されている本フェアに参画し、支援した。

また、会場内の出展ブースに協会の事業紹介パネルの展示を行った。

開催日：平成 27 年 10 月 25 日 (日)

場 所：グランフロント大阪・うめきた広場

来場者：約 4,000 名

主 催：当協会、大阪府、(一財) 日本造園修景協会

イ. はならんまん

大阪市民の花や緑のまちづくりへの関心を高め、花と緑を育てる伝統や文化への理解を促すとともに、花緑関連業界の交流と活性化を目的に開催された本事業に支援した。

開催日：平成 27 年 10 月 17 日 (土)・18 日 (日)

場 所：大阪市花博記念公園鶴見緑地 (大阪市鶴見区)

来場者：約 55,000 名

主 催：当協会、大阪市

ウ. みどりのまちづくり賞 (大阪ランドスケープ賞)

緑によるまちづくりや、市民の花やみどりに関する知識、技術力の向上を図ることを目的とした第 5 回みどりのまちづくり賞に参画し、知事賞や花博記念協会会長賞等を授与した。

開催日：平成 27 年 11 月 23 日 (祝)

場 所：花博記念ホール (大阪市鶴見区)

主 催：当協会、大阪府、(一社) ランドスケープコンサルタンツ協会関西支部

エ. 公園利用促進広報事業 (情報誌オアフの発行)

大阪府下の公園、緑地の利用の促進等のため、公園情報や当協会事業情報を掲載した情報誌「オアフ」第 7 号、第 8 号 (各 3 万 5 千部、計 7 万部) を大阪府、大阪市と協働して作成、配布するとともに、バックナンバーも含めて常時閲覧できるよう「電子版」を作成し、協会ホームページに掲載した。

オ. その他

(ア) 広報・報道活動

- ・コスモス国際賞の新受賞者情報を掲載したパンフレットを作成し、授賞式等で配付したほか、2015 年 (第 23 回) 受賞者の業績、コスモス賞の趣意、授賞式及び記念講演等を取りまとめた報告書 (変形 A4 判 84 頁) を作成 (1,500 部) し、国内外の関係者に配付した。また、各事業の周知のため、各種チラシ、パンフレット、報告書等を作成し、配布した他、事業毎に東京・大阪の記者クラブに資料を提供し、マスコミキャラバンを実施した。

- ・各事業の理解促進・普及のために協会ホームページを適宜更新するとともに、ソ

ーシャルネットワーク（facebook）でも積極的に事業紹介を行った。

(イ) 情報等の提供、その他普及啓発

・今後開催が予定されている博覧会や各種イベント等の主催者に対し、博覧会のノウハウや情報、写真等の提供を行った。

海外・国・地方自治体－6件、企業・個人－5件

・各種行催事等に協賛・後援・会長賞の交付を行った。（詳細別表8のとおり）

(別表8)

催事名（開催時期）	開催場所	主催	名義
第17回「国際バラとガーデニングショウ」(H27.5.12～5.17)	西武プリンスドーム (埼玉県所沢市)	国際バラとガーデニングショウ組織委員会	後援
大阪ばら祭 2015 (H27.5.15～5.17)	花博記念公園鶴見緑地内 咲くやこの花館 (大阪市鶴見区)	関西ばら会・咲くやこの花館運営グループ	後援 会長賞
第12回 2015 周防町通り「はなまつり」(H27.5.1～5.31)	周防町通り（堺筋～御堂筋間）と大阪市立南小学校 (大阪市中央区)	ヨーロッパ村周防町通り商店会	後援
いけばなインターナショナル大阪支部第24回フェスティバル (H27.4.26)	大阪国際交流センター（大阪市天王寺区）	いけばなインターナショナル大阪支部	後援
第2回公益社団法人日本フラワーデザイナー協会花検定 (H27.11.23)	東京、大阪、名古屋、福岡	公益社団法人日本フラワーデザイナー協会	後援
平成27年度大阪府立花の文化園 幼児・小中学生花の絵画展 (H28.1.5～1.31)	大阪府立花の文化園（フルルガーデン）イベントホール (大阪府河内長野市)	大阪府、花の文化園協働事業体（一般財団法人大阪府みどり公社）	後援 会長賞
山の日制定記念 水都おおさかもり 森林の市 2015 (H27.10.4)	近畿中国森林管理局・毛馬桜ノ宮公園周辺（大阪市北区）	水都おおさか森林づくり・木づかい実行委員会	後援
平成27年度「都市緑化月間」 (27.10.1～10.31)	全国	国土交通省、都道府県、市町村	協賛
フラワーアートミュージアム 2015 (H27.10.2～10.19)	大阪ステーションシティ (JR大阪駅) 時空の広場	大阪ターミナルビル株式会社	後援

第70回記念日本おもと名品展 (H27. 11. 28~11. 29)	上野グリーンクラブ (東京都台東区)	公益社団法人日本おも と協会	後援 会長賞
ぎふフラワーフェスティバル 2016 (H28. 3. 5~3. 6)	岐阜メモリアルセンター (岐阜市長良福光大野)	清流の国ぎふ花き戦略 会議	後援
2016 日本フラワー&ガーデンシ ョウ (H28. 4. 22~4. 24)	パシフィコ横浜展示ホー ルB (神奈川県横浜市)	公益社団法人日本家庭 園芸普及協会	協賛
小品盆栽フェア第24回春雅展 (H28. 3. 25~3. 27)	花博記念公園鶴見緑地内 ハナミズキホール (大阪市鶴見区)	公益社団法人全日本小品 盆栽協会	後援 会長賞
第18回「国際バラとガーデニン グショウ」(H28. 5. 13~5. 18)	西武プリンスドーム (埼玉県所沢市)	国際バラとガーデニン グショウ組織委員会	後援
いけばなインターナショナル大 阪支部第25回フェスティバル (H28. 5. 22)	大阪国際交流センター(大 阪市天王寺区)	いけばなインターナシ ョナル大阪支部	後援

(5) 国際交流事業

日本の高校生に、海外の自然を体験させる新規事業を企画検討した。その方策として、兵庫県立人と自然の博物館と協力し、台湾の高校生と合同で生きもの調査を体験させる事業を平成28年度に実現すべく、現地フィールドの調査・確認等を行った(2015年10月4日~7日)。

また、2016年にトルコ共和国アンタルヤ県で開催される「2016年アンタルヤ国際園芸博覧会」(会期:2016年4月23日~10月30日)への日本政府出展に協力するため、国土交通省及び農林水産省の実行委員会に参画し、事業計画・予算計画等の検討を行い、平成27年度は国土交通省の屋外出展に協力し、1000万円を支出した。

4. 調査研究・資料収集事業

(1) 生物多様性等に関する調査

これまで取り組んできた、文化を育む日本の植物の保全が果たす役割や課題をまとめた成果を普及させる手法について、他団体などとの協働、広報用媒体の作成などの検討を進めた。

(2) 里山等の共生に関する調査

平成 25 年度の東日本大震災被災地を対象とした地域特有の里地、里山、里海に関わる文化に関する文献調査、事例調査の成果、平成 26 年度の大阪湾周辺地域（兵庫県南あわじ市、和歌山県田辺市）における里、山、海の連携に関する資料収集・調査の成果などを踏まえ、東日本大震災被災地、大阪湾周辺地域の 2 地域の比較を行い、今後の防災、被災地のコミュニティの復興やまちづくりにも役立てることができるよう、検討を進めた。

平成 27 年度

Ⅱ. 庶務・管理

自 平成 27 年 4 月 1 日

至 平成 28 年 3 月 31 日

II. 庶務・管理

1. 理事会、評議員会等

(1) 第 85 回理事会 平成 27 年 6 月 5 日 (金)

開催場所：日本工業倶楽部会館（東京都千代田区）

決議事項：平成 26 年度事業報告及び収支決算について

平成 27 年度収支予算の補正について

特定資産について

定時評議員会の招集について

評議員会に提出する理事候補者名簿（案）について

評議員会に提出する評議員候補者名簿（案）について

出席等：決議に必要な出席理事の数 5 名、出席 5 名、欠席 3 名、監事出席 2 名

(2) 第 86 回理事会 平成 27 年 6 月 24 日 (水)

開催方法：決議の省略の方法

決議事項：会長、理事長、専務理事の選定について

出席等：提案書に対し、理事 8 名全員の書面による同意、また、監事 2 名から書面により

異議がない旨の意思表示を得た日をもって、理事会の決議があったものとみなされた。

(3) 第 87 回理事会 平成 27 年 7 月 31 日 (金)

開催場所：日本工業倶楽部会館（東京都千代田区）

決議事項：2015 年（第 23 回）コスモス国際賞受賞者の決定について

特定資産の取崩しについて

評議員会に提出する評議員候補者（案）について

評議員会の招集について

出席等：決議に必要な出席理事の数 5 名、出席 7 名、欠席 1 名、監事出席 1 名

(4) 第 88 回理事会 平成 28 年 3 月 18 日 (金)

開催場所：日本工業倶楽部会館（東京都千代田区）

決議事項：平成 28 年度資産運用方針書について

平成 28 年度事業計画及び収支予算について

特定資産について

平成 28 年度助成団体の決定について

コスモス国際賞委員会委員の選任について

助成事業審査委員会委員の選任について

出席等：決議に必要な出席理事の数 5 名、出席 8 名、欠席 0 名、監事出席 2 名

(5) 第45回評議員会 平成27年6月24日(水)

開催場所：関西文化サロン(大阪市北区)

決議事項：平成26年度事業報告及び収支決算書類の承認について
理事の選任について
評議員の選任について

出席等：決議に必要な出席評議員の数7名、出席9名、欠席4名、監事出席なし、理事2名

(6) 第46回評議員会 平成27年9月2日(水)

開催方法：決議の省略の方法

決議事項：特定資産の取崩しについて
評議員の選任について

出席等：提案書に対し、評議員13名全員の書面による同意の意思表示を得た日をもって、
評議員会の決議があったものとみなされた。

2. 内閣府届出及び情報公開

平成27年6月に開催した理事会、評議員会における平成26年度事業報告及び収支決算、平成28年3月に開催した理事会における平成28年度事業計画及び収支予算について、それぞれ、内閣府に届出を行った。

また、定款、名簿、財務諸表等を協会事務所に据え置いたほか、協会ホームページにも掲載し、情報公開に努めた。

3. その他

第3者委員会として資産運用管理委員会を引き続き開催し、資産運用の業務状況を調査・確認し、代表理事に対して報告を行った。

協会組織は、代表理事2名、業務執行理事1名の体制のもと、2部3課制12名とした。

平成 27 年度

Ⅲ. 財 務 諸 表

自 平成 27 年 4 月 1 日

至 平成 28 年 3 月 31 日

貸借対照表

平成28年3月31日 現在

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	170,278,721	183,546,087	△13,267,366
未収収益	71,060,199	71,048,486	11,713
流動資産合計	241,338,920	254,594,573	△13,255,653
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
基本財産普通預金	860,000,000	22,000,000	838,000,000
基本財産定期預金	344,700	838,344,700	△838,000,000
基本財産投資有価証券	29,655,300	29,655,300	0
基本財産合計	890,000,000	890,000,000	0
(2) 特定資産			
記念基金	9,777,611,888	9,727,462,238	50,149,650
退職給付引当資産	50,719,600	50,795,900	△76,300
特定資産合計	9,828,331,488	9,778,258,138	50,073,350
(3) その他固定資産			
投資有価証券	13,208,268	16,858,313	△3,650,045
什器備品	8	8	0
その他固定資産合計	13,208,276	16,858,321	△3,650,045
固定資産合計	10,731,539,764	10,685,116,459	46,423,305
資産合計	10,972,878,684	10,939,711,032	33,167,652
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	32,743,767	44,159,245	△11,415,478
預り金	814,460	596,499	217,961
賞与引当金	2,541,886	3,000,359	△458,473
流動負債合計	36,100,113	47,756,103	△11,655,990
2. 固定負債			
退職給付引当金	50,719,600	50,795,900	△76,300
固定負債合計	50,719,600	50,795,900	△76,300
負債合計	86,819,713	98,552,003	△11,732,290
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
寄付金	10,000,000,000	10,000,000,000	0
基本財産運用益	90,000,000	90,000,000	0
特定資産運用益	731,610,000	632,008,000	99,602,000
特定資産評価差額金等	△153,998,112	△104,545,762	△49,452,350
指定正味財産合計	10,667,611,888	10,617,462,238	50,149,650
(うち基本財産への充当額)	(890,000,000)	(890,000,000)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(9,777,611,888)	(9,727,462,238)	(50,149,650)

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
2. 一般正味財産	218,447,083	223,696,791	△5,249,708
(うち基本財産への充当額)	(0)	(0)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(0)	(0)	(0)
正味財産合計	10,886,058,971	10,841,159,029	44,899,942
負債及び正味財産合計	10,972,878,684	10,939,711,032	33,167,652

正味財産増減計算書

平成27年4月1日 から 平成28年3月31日 まで

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	14,098,932	2,195,048	11,903,884
基本財産受取利息	14,098,932	2,195,048	11,903,884
特定資産運用益	251,980,812	247,641,966	4,338,846
記念基金受取利息	226,169,812	247,641,966	△21,472,154
記念基金売却益	21,043,000	0	21,043,000
記念基金償還益	4,768,000	0	4,768,000
受取寄付金	4,000,000	10,000,000	△6,000,000
受取寄付金	4,000,000	10,000,000	△6,000,000
雑収益	852,674	23,500	829,174
受取利息	5	0	5
雑収益	852,669	23,500	829,169
経常収益計	270,932,418	259,860,514	11,071,904
(2) 経常費用			
事業費	205,753,681	219,541,410	△13,787,729
役員報酬	8,337,000	8,274,000	63,000
給与手当	40,653,672	40,784,644	△130,972
法定福利費	7,006,085	6,837,116	168,969
退職給付費用	1,644,683	2,202,910	△558,227
賃金	1,895,425	2,611,587	△716,162
職員厚生費	696,657	666,829	29,828
会議費	1,645,106	1,621,093	24,013
旅費交通費	6,513,678	7,403,676	△889,998
通信運搬費	2,508,119	2,689,339	△181,220
広告費	932,191	1,744,416	△812,225
消耗什器備品費	1,816,546	278,531	1,538,015
消耗品費	1,748,249	2,040,872	△292,623
印刷製本費	2,920,776	3,135,381	△214,605
光熱水料費	2,767,486	3,104,154	△336,668
役務費	38,071	34,653	3,418
委託費	17,324,109	22,913,272	△5,589,163
賃借料	4,982,139	4,633,255	348,884
使用料	2,372,029	3,436,894	△1,064,865
保険料	202,972	159,250	43,722
諸謝金	5,576,757	5,458,274	118,483
租税公課	14,434	299,460	△285,026
支払負担金・会費	35,481,387	47,373,652	△11,892,265
支払助成金	15,278,760	11,162,000	4,116,760

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
支払手数料	582,972	609,700	△26,728
顕彰賞金	42,693,400	40,000,000	2,693,400
雑費	120,978	66,452	54,526
管理費	70,428,445	73,735,210	△3,306,765
役員報酬	3,573,000	3,546,000	27,000
給与手当	34,625,048	34,314,488	310,560
法定福利費	6,778,089	6,552,196	225,893
退職給付費用	1,428,917	1,754,890	△325,973
賃金	812,325	1,119,252	△306,927
職員厚生費	605,262	572,169	33,093
会議費	705,045	694,754	10,291
旅費交通費	2,791,577	3,173,004	△381,427
通信運搬費	1,074,908	1,152,574	△77,666
広告費	399,511	747,607	△348,096
消耗什器備品費	778,520	119,370	659,150
消耗品費	749,250	874,659	△125,409
印刷製本費	1,251,762	1,343,735	△91,973
光熱水料費	1,186,065	1,330,352	△144,287
役務費	16,315	14,852	1,463
委託費	7,424,618	9,819,973	△2,395,355
賃借料	2,135,203	1,985,681	149,522
使用料	1,016,584	1,472,955	△456,371
保険料	86,988	68,250	18,738
諸謝金	2,390,039	2,339,261	50,778
租税公課	6,186	128,340	△122,154
支払負担金・会費	291,540	321,070	△29,530
支払手数料	249,845	261,300	△11,455
雑費	51,848	28,478	23,370
経常費用計	276,182,126	293,276,620	△17,094,494
当期経常増減額	△5,249,708	△33,416,106	28,166,398
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△5,249,708	△33,416,106	28,166,398
一般正味財産期首残高	223,696,791	257,112,897	△33,416,106
一般正味財産期末残高	218,447,083	223,696,791	△5,249,708
II 指定正味財産増減の部			
受取寄付金	4,000,000	0	4,000,000
受取寄付金	4,000,000	0	4,000,000
基本財産運用益	14,098,932	24,195,048	△10,096,116

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
基本財産受取利息	14,098,932	24,195,048	△10,096,116
特定資産運用益	660,032,857	539,848,011	120,184,846
記念基金受取利息	229,819,857	331,292,011	△101,472,154
記念基金投資有価証券売却益	21,043,000	4,230,000	16,813,000
記念基金投資有価証券償還益	409,170,000	204,326,000	204,844,000
特定資産評価益	0	267,962,138	△267,962,138
記念基金投資有価証券評価益	0	267,962,138	△267,962,138
特定資産評価損	△354,252,350	0	△354,252,350
記念基金投資有価証券評価損	△354,252,350	0	△354,252,350
一般正味財産への振替	△273,729,789	△263,487,059	△10,242,730
一般正味財産への振替	△273,729,789	△263,487,059	△10,242,730
当期指定正味財産増減額	50,149,650	568,518,138	△518,368,488
指定正味財産期首残高	10,617,462,238	10,048,944,100	568,518,138
指定正味財産期末残高	10,667,611,888	10,617,462,238	50,149,650
Ⅲ 正味財産期末残高	10,886,058,971	10,841,159,029	44,899,942

正味財産増減計算書内訳表

平成27年4月1日 から 平成28年3月31日 まで

(単位：円)

科 目	公益目的事業会計	法人会計	合計
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	4,229,679	9,869,253	14,098,932
基本財産受取利息	4,229,679	9,869,253	14,098,932
特定資産運用益	176,386,568	75,594,244	251,980,812
記念基金受取利息	158,318,868	67,850,944	226,169,812
記念基金売却益	14,730,100	6,312,900	21,043,000
記念基金償還益	3,337,600	1,430,400	4,768,000
受取寄付金	4,000,000	0	4,000,000
受取寄付金	4,000,000	0	4,000,000
雑収益	52,674	800,000	852,674
受取利息	5	0	5
雑収益	52,669	800,000	852,669
経常収益計	184,668,921	86,263,497	270,932,418
(2) 経常費用			
事業費	205,753,681	0	205,753,681
役員報酬	8,337,000	0	8,337,000
給与手当	40,653,672	0	40,653,672
法定福利費	7,006,085	0	7,006,085
退職給付費用	1,644,683	0	1,644,683
賃金	1,895,425	0	1,895,425
職員厚生費	696,657	0	696,657
会議費	1,645,106	0	1,645,106
旅費交通費	6,513,678	0	6,513,678
通信運搬費	2,508,119	0	2,508,119
広告費	932,191	0	932,191
消耗什器備品費	1,816,546	0	1,816,546
消耗品費	1,748,249	0	1,748,249
印刷製本費	2,920,776	0	2,920,776
光熱水料費	2,767,486	0	2,767,486
役務費	38,071	0	38,071
委託費	17,324,109	0	17,324,109
賃借料	4,982,139	0	4,982,139
使用料	2,372,029	0	2,372,029
保険料	202,972	0	202,972
諸謝金	5,576,757	0	5,576,757
租税公課	14,434	0	14,434
支払負担金・会費	35,481,387	0	35,481,387
支払助成金	15,278,760	0	15,278,760

(単位：円)

科 目	公益目的事業会計	法人会計	合計
支払手数料	582,972	0	582,972
顕彰賞金	42,693,400	0	42,693,400
雑費	120,978	0	120,978
管理費	0	70,428,445	70,428,445
役員報酬	0	3,573,000	3,573,000
給与手当	0	34,625,048	34,625,048
法定福利費	0	6,778,089	6,778,089
退職給付費用	0	1,428,917	1,428,917
賃金	0	812,325	812,325
職員厚生費	0	605,262	605,262
会議費	0	705,045	705,045
旅費交通費	0	2,791,577	2,791,577
通信運搬費	0	1,074,908	1,074,908
広告費	0	399,511	399,511
消耗什器備品費	0	778,520	778,520
消耗品費	0	749,250	749,250
印刷製本費	0	1,251,762	1,251,762
光熱水料費	0	1,186,065	1,186,065
役務費	0	16,315	16,315
委託費	0	7,424,618	7,424,618
賃借料	0	2,135,203	2,135,203
使用料	0	1,016,584	1,016,584
保険料	0	86,988	86,988
諸謝金	0	2,390,039	2,390,039
租税公課	0	6,186	6,186
支払負担金・会費	0	291,540	291,540
支払手数料	0	249,845	249,845
雑費	0	51,848	51,848
経常費用計	205,753,681	70,428,445	276,182,126
当期経常増減額	△21,084,760	15,835,052	△5,249,708
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△21,084,760	15,835,052	△5,249,708
一般正味財産期首残高	128,255,323	95,441,468	223,696,791
一般正味財産期末残高	107,170,563	111,276,520	218,447,083
II 指定正味財産増減の部			
受取寄付金	4,000,000	0	4,000,000
受取寄付金	4,000,000	0	4,000,000
基本財産運用益	4,229,679	9,869,253	14,098,932

(単位：円)

科 目	公益目的事業会計	法人会計	合計
基本財産受取利息	4,229,679	9,869,253	14,098,932
特定資産運用益	462,022,999	198,009,858	660,032,857
記念基金受取利息	160,873,899	68,945,958	229,819,857
記念基金投資有価証券売却益	14,730,100	6,312,900	21,043,000
記念基金投資有価証券償還益	286,419,000	122,751,000	409,170,000
特定資産評価損	△247,976,645	△106,275,705	△354,252,350
記念基金投資有価証券評価損	△247,976,645	△106,275,705	△354,252,350
一般正味財産への振替	△187,171,278	△86,558,511	△273,729,789
一般正味財産への振替	△187,171,278	△86,558,511	△273,729,789
当期指定正味財産増減額	35,104,755	15,044,895	50,149,650
指定正味財産期首残高	7,408,223,572	3,209,238,666	10,617,462,238
指定正味財産期末残高	7,443,328,327	3,224,283,561	10,667,611,888
Ⅲ 正味財産期末残高	7,550,498,890	3,335,560,081	10,886,058,971

財務諸表に対する注記

1 重要な会計方針

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法

①満期保有目的の債券…償却原価法(定額法)によっている。

②満期保有目的の債券並びに子会社株式及び関連会社株式以外の有価証券

時価あるもの…期末日の市場価格等に基づく時価法(売却原価は移動平均法により算定)によっている。

(2) 固定資産の減価償却の方法

その他の固定資産

什器備品…定額法によっている。

(3) 引当金の計上基準

退職給付引当金

職員の退職手当の支給に備えるため、職員の退職手当支給規程に基づき、期末要支給額を計上している。

賞与引当金

職員に対する賞与の支給に備えるため、支給見込額のうち当期に帰属する額を計上している。

(4) 消費税等の会計処理

税込方式によっている。

2 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
定期預金等	860,344,700	882,000,000	882,000,000	860,344,700
投資有価証券	29,655,300	0	0	29,655,300
小 計	890,000,000	882,000,000	882,000,000	890,000,000
特定資産				
記念基金	9,727,462,238	7,953,690,000	7,903,540,350	9,777,611,888
退職給付引当資産	50,795,900	3,073,600	3,149,900	50,719,600
小 計	9,778,258,138	7,956,763,600	7,906,690,250	9,828,331,488
合 計	10,668,258,138	8,838,763,600	8,788,690,250	10,718,331,488

3 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産 からの充当額)	(うち一般正味財産 からの充当額)	(うち負債に 対応する額)
基本財産				
定期預金等	860,344,700	(860,344,700)	(0)	-
投資有価証券	29,655,300	(29,655,300)	(0)	-
小 計	890,000,000	(890,000,000)	(0)	(0)
特定資産				
記念基金 (注)	9,777,611,888	(9,777,611,888)	(0)	(0)
退職給付引当資産	50,719,600	-	-	(50,719,600)
小 計	9,828,331,488	(9,777,611,888)	(0)	(50,719,600)
合 計	10,718,331,488	(10,667,611,888)	(0)	(50,719,600)

(注) 期限前解約時の清算金条項の付された定期預金が記念基金に800,000,000円含まれている。

4 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は次のとおりである。

(単位:円)

科 目	品 名	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
什器備品	花博会場模型	10,036,290	10,036,289	1
	コスモス国際賞顕彰品レプリカ	2,200,000	2,199,999	1
	ラフレシア(花)標本	4,506,293	4,506,292	1
	DVDレコーダー	165,000	164,999	1
	液晶テレビ	593,620	593,619	1
	ノートパソコン	193,200	193,199	1
	デジタルビデオカメラ	106,500	106,499	1
	プロジェクター	147,000	146,999	1
合 計		17,947,903	17,947,895	8

5 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益は、次のとおりである。

(単位:円)

種類及び銘柄	帳簿価額	時 価	評価損益
基本財産			
第328回利付国債	29,655,300	31,660,170	2,004,870
小 計	29,655,300	31,660,170	2,004,870
特定資産及びその他固定資産			
記念基金及び投資有価証券			
第3回日本電産社債	100,896,382	104,690,000	3,793,618
第8回パナソニック社債	102,959,805	105,740,000	2,780,195
第42回ソフトバンク社債	100,384,327	100,648,000	263,673
第7回ニプロ社債	101,913,191	103,290,000	1,376,809
第20回みずほ銀行劣後債	102,671,409	107,590,000	4,918,591
第41回阪急阪神HD社債	104,383,154	109,830,000	5,446,846
小 計	613,208,268	631,788,000	18,579,732
合 計	642,863,568	663,448,170	20,584,602

6 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は、次のとおりである。

(単価:円)

内 容	金 額
経常収益への振替額	
基本財産受取利息	14,098,932
記念基金受取利息	229,819,857
記念基金売却益	21,043,000
記念基金償還益	4,768,000
受取寄付金	4,000,000
合 計	273,729,789

附属明細書

1. 基本財産及び特定資産の明細

財務諸表に対する注記3. に記載している。

2. 引当金の明細

(単位:円)

科目	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高
			目的使用	その他	
賞与引当金	3,000,359	2,541,886	3,000,359	0	2,541,886
退職給付引当金	50,795,900	3,073,600	3,149,900	0	50,719,600

財産目録

平成28年3月31日 現在

(単位：円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額	
(流動資産)	現金預金				
	現金	手元保管	運転資金として	205,375	
	普通預金	りそな銀行大阪公務部	運転資金として	45,252,169	
		三菱東京UFJ銀行大阪公務部	運転資金として	8,955,932	
		三井住友銀行大阪公務部	運転資金として	58,282,219	
		みずほ銀行大阪支店	運転資金として	55,209,950	
		三菱UFJ信託銀行大阪法人営業部	運転資金として	2,373,066	
	外貨預金	三菱UFJ信託銀行大阪法人営業部	公益目的事業資金として	10	
			現金預金合計	170,278,721	
	未収収益		公益目的事業及び管理目的の財源として使用する債券等の未収利息	71,060,199	
流動資産合計				241,338,920	
(固定資産)	基本財産	普通預金	三井住友銀行大阪公務部	運用益を公益目的事業及び管理目的の財源として使用している。	860,000,000
				うち公益目的保有財産である	258,000,000
				うち管理目的の財源として使用する財産である	602,000,000
		定期預金	りそな銀行大阪公務部	運用益を公益目的事業及び管理目的の財源として使用している。	344,700
				うち公益目的保有財産である	103,410
				うち管理目的の財源として使用する財産である	241,290
	投資有価証券	第328回利付国債	満期保有目的で保有し、運用益を公益目的事業及び管理目的の財源として使用している。	29,655,300	
			うち公益目的保有財産である	8,896,590	
			うち管理目的の財源として使用する財産である	20,758,710	
			基本財産合計	890,000,000	
	特定資産	記念基金			9,777,611,888
		投資有価証券	関西国際空港20年債他	運用益を公益目的事業及び管理目的の財源として使用している。	8,178,167,888
				うち公益目的保有財産である。	5,724,717,522
			うち管理目的の財源として使用する財産である。	2,453,450,366	
		第8回パナソニック社債他	満期保有目的で保有し、運用益を公益目的事業及び管理目的の財源として使用している。	600,000,000	
		うち公益目的保有財産である。	420,000,000		
		うち管理目的の財源として使用する財産である。	180,000,000		
	定期預金	三井住友銀行大阪公務部	運用益を公益目的事業及び管理目的の財源として使用している。	500,000,000	
			うち公益目的保有財産である。	350,000,000	

(単位：円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額
その他固定資産	普通預金	三菱UFJ信託銀行大阪法人営業部	うち管理目的の財源として使用する財産である。	150,000,000
			運用益を公益目的事業及び管理目的の財源として使用している。	300,000,000
			うち公益目的保有財産である。	210,000,000
		みずほ銀行大阪支店	うち管理目的の財源として使用する財産である。	90,000,000
			運用益を公益目的事業及び管理目的の財源として使用している。	9,444,000
			うち公益目的保有財産である。	6,610,800
	退職給付引当資産	三井住友銀行大阪公務部	うち管理目的の財源として使用する財産である。	2,833,200
			運用益を公益目的事業及び管理目的の財源として使用している。	190,000,000
			うち公益目的保有財産である。	133,000,000
	普通預金	りそな銀行大阪公務部	退職給付引当金見合の引当資産として管理している。	40,719,600
	信託受益権	三井住友銀行大阪公務部	退職給付引当金見合の引当資産として管理している。	10,000,000
			特定資産合計	9,828,331,488
投資有価証券	第8回パナソニック社債他(オーバーパー部分)	公益目的事業及び管理目的の財源として使用している。	13,208,268	
		うち公益目的保有財産である。	9,245,788	
		うち管理目的の財源として使用する財産である。	3,962,480	
什器備品	花博会場模型等	公益目的事業及び管理目的の財源として使用している。	8	
固定資産合計				10,731,539,764
資産合計				10,972,878,684
(流動負債)	未払金	平成27年度助成事業対象者に対する未払額等	公益目的事業及び管理目的の業務等未払い分	32,743,767
	預り金	役職員に対するもの	源泉徴収税等	814,460
	賞与引当金	職員に対するもの	公益目的事業及び管理目的の業務に従事する職員の賞与の引当金である。	2,541,886
流動負債合計				36,100,113
(固定負債)	退職給付引当金	職員に対するもの	職員6名に対する退職金の支払いに備えたもの	50,719,600
固定負債合計				50,719,600
負債合計				86,819,713
正味財産				10,886,058,971

平成 27 年度

IV. 監 査 報 告 書

自 平成 27 年 4 月 1 日

至 平成 28 年 3 月 31 日

監査報告書

平成28年 5月31日

公益財団法人国際花と緑の博覧会記念協会

会長 今井 敬 様

公益財団法人国際花と緑の博覧会記念協会

監事

北山 諒一

公益財団法人国際花と緑の博覧会記念協会

監事

堀井 良 殷

私たち監事は、平成27年4月1日から平成28年3月31日までの事業年度の理事の職務の執行を監査いたしました。その方法及び結果について、次のとおり報告いたします。

1. 監査の方法及びその内容

各監事は、理事及び使用人等と意志疎通を図り、情報の収集及び監査の環境整備に努めるとともに、理事会その他必要な会議に出席し、理事及び使用人等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、業務及び財産の状況を調査いたしました。以上の方法に基づき、当該事業年度に係る事業報告について検討いたしました。

さらに、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当該事業年度に係る計算書類（貸借対照表及び正味財産増減計算書）及びその附属明細書並びに財産目録について検討いたしました。

2. 監査意見

(1) 事業報告等の監査結果

一 事業報告は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。

二 理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。

(2) 計算書類及びその附属明細書並びに財産目録の監査結果

計算書類及びその附属明細書並びに財産目録は、法人の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に示しているものと認めます。